

ガーデニングで市民主体のまちづくり 宮前ガーデニング倶楽部



▲宮崎台駅前花壇

1999(平成11)年「ガーデニングを道具に市民主体のまちづくり」をモットーに、宮前ガーデニング倶楽部(以下、「倶楽部」と略します)が発足しました。

「宮崎台駅前花壇」は、2005(平成17)年の第1回川崎市わがまち花と緑のコンクール(緑化部門)で大賞を受賞しました。

宮前平駅から宮前市民館へ行く富士見坂の途中にある「ポケットパーク」は、倶楽部発祥の地となっており、第4回コンクールでは、なごみ賞を受賞しました。



▲ベンチのあるポケットパーク

毎週水曜日・土曜日10時～12時を定例活動日としています。花壇の活動場所は、東急田園都市線宮前平駅前、富士見坂途中のポケットパーク、宮前区役所市民広場、宮崎台駅前、矢上川が中心ですが、第2・4水曜日は生田ゴルフ場にも出かけています。生田ゴルフ場の花壇は、デザインから植え込み、手入れまで行い市民活動ながら事業収入を得ています。

花植えや維持管理に参加している会員は15名ですが、見るだけ(賛助)会員は40人以上登録されています。取材時にも、植込みの様子を見ながら「きれいに植えたね」とあたたかく声をかける会員がいました。

花壇に必要な物の調達には予算もかかりますが、去年は東急の『みど*リンク』からの支援金で、花壇の縁取りをコンクリート擬木で作りがえることができました。その他木製の道具倉庫、レンガ、通路に敷くソバ殻などを地域の方から頂き再利用しています。

「宮崎台ふる里さくら祭り」では、花壇の前にステージができ、毎年祭りに出店して協力しています。

さらに、ガーデニング活動以外にも、宮崎台小学校の4年生の総合的な学習の時間(春と秋)の講師も務めています。5月には、太陽熱温水器の原理を上手に実験し、子どもたちから拍手が起きました。秋の青空教室では、タネだんごづくりとハーブバターづくりをする予定です。

倶楽部の会員のみなさんは、田園都市線沿線地域を花いっぱいのもちにして、コミュニティの輪を広げようと日々楽しく活動しています。

新会員募集中!! 年会費は1,000円とのことです。



▲倶楽部の会員のみなさん